

## 平成21年度実施 地域ICT利活用モデル構築事業 成果報告書

実施団体名 茨城県日立市  
事業名称 「家ごはんからの健康」事業

## 1. 事業実施概要

登録者（市民）が家庭のパソコンや携帯電話からインターネット網を介して「家ごはんシステム」にアクセスすることにより、個人が摂食する全ての食事のベースを構築する。取得したデータは自動的に栄養分析がなされ、登録者は自らの摂取カロリーや栄養成分などの摂食傾向をグラフやチャートにより把握できるようになることに加え、システム内のログにより選択された栄養指導のコメントも受けることが出来る。更に、希望者には管理栄養士による個別栄養指導も電子メールにより受けることが出来る。

このシステムの完成により、市民一人ひとりが自身の栄養管理を自ら可能とする社会的プラットフォームが構築されることになる。

## 2. 目標の進捗状況

| 指標                    | 目標値    | 結果の数値                          | 達成状況 | 計測方法・出展等         |
|-----------------------|--------|--------------------------------|------|------------------|
| 消費者の登録者数              | 20人    | 108人<br>※H22.3.25現在            | ○    |                  |
| 栄養士雇用数                | 2人     | 2人                             | ○    |                  |
| ポータルサイトアクセス数<br>（月平均） | 500人/日 | 26人/日<br>※H22.3.25までの3月        | ×    | ポータルサイトのカウンター    |
| 対象食品スーパー数             | 4店     | 18店                            | ○    | キャンペーン実施店舗数      |
| 健康への意識調査              | 実施     | 3月中旬に実施<br>（対象者90人、<br>回答率28%） | ○    | Web上にフォームを作成して実施 |

## 3. 達成状況が△又は×の場合はその理由

登録者数が順調に目標値を上回った一方で、ポータルサイトアクセス数が伸びていない。それぞれのこれまでの経過をたどると次の通り。

| (登録者数)         | (ポータルサイトアクセス数) |
|----------------|----------------|
| 12月 44人        | — ※カウントなし      |
| 1月 11人(累計 55人) | 23人/日 ※1/19以降  |
| 2月 24人(〃 79人)  | 13人/日          |
| 3月 29人(〃 108人) | 26人/日 ※3/25まで  |

登録者数は、11月初旬から12月中旬にかけての市内18店舗における店頭キャンペーン(PRチラシの配布、46インチ大型モニターでのCM放映、ノートパソコンでのシステム体験)及び11月1ヶ月間の地元ケーブルテレビによるCM放送などの積極的な事前PRが奏効して、システムが開始した12月のうちに目標に達したが、ポータルサイトアクセス数に関しては開始以来大きな増減も無く推移している。

初期のキャンペーンが終了した12月以降も次の通りPRを重ねているが、それが実績となって反映されていないことが課題である。

1/28 「よみうりタウンニュース(県内約218,000部発行)」にPR記事掲載

2/20 「日立市報(市内約7万世帯に配布)」にPR記事掲載

3月初旬～中旬 各種イベントを通してチラシ約1,000枚を配布

この原因として幾つかが考えられる。

まず、新規閲覧者の増加策として、PR不足が考えられる。上記のとおり幾つかのメディアを通じてサイトのPRを行なっているが、それぞれメディアに掲載された周辺日のアクセス数は伸びるのであるが、毎回瞬発力で終わってしまっている。コンスタントに新規閲覧者を確保できる対策が必要である。

そのために現在進めているのが、相互リンクである。食に関する多くのサイトと相互リンクを組むことができれば、PRの費用をかけることなく新規閲覧者を確保することができる。3/25現在、相互リンクを行なっているのは、県内大手スーパーマーケット1社のみであるが、今後もこの動きを継続させていきたい。

また、新規閲覧者の増加策と合わせて、リピーターの確保も講じなければならない。この対策に最も有効なのは、サイト全体の情報量と更新の頻度であるが、両面において現在の状態は十分とは言いがたい。

この理由に、まず情報の掲載及び更新の担い手が、プロジェクトリーダーである川上教授ほぼ一人に限定されており、物理的にも限界があることが挙げられる。対策として、「掲載及び更新の担い手を増やすこと」や「ブログまたは掲示板等の登録者が書き込みができる仕組み作り」が考えられる。前者は、急に増やすことは難しいことから、現実的には後者を検討して行くことになると思われる。

システム公開の初年度である平成21年度は、とりあえずポータル及びシステムの公開、供用を開始できたわけであるが、既にこれらの課題が生じている。また、2年度目以降は、ランニングコストをペイするための資金的自立も大きな課題である。協議会委員一同、更に検討と努力を続けて行きたい。

## <委託業務説明書>

### 1 平成21年度事業実施において明らかとなった課題

平成20年度から「特定健康診査・特定保健指導」が実施され、管理栄養士等による個人の食への指導が強化されているが、継続的に個人が食の健康管理を行っていく適切なツールが存在しない。ICT技術の発達でウェブ利用者は増大傾向にあることから、一般市民を対象とするICTを活用した無料の食の自己管理ツールの作成を行った。本ツールが市民の関心を引き、食管理の動機づけとなり、継続的に利用されるためには、利便性、簡便性を備え、地域性を盛り込んだものであることが望ましい。また、そこから発信される情報は科学的根拠に基づく正確で信頼性のあるものでなければならない。そのような条件を具備した食のポータルサイトが本事業で完成した。

ただし、この中に掲載されている情報は暫時更新が求められる。したがってサイトの完成で事業が終了するものでなく、そこからこの事業はスタートする。今後、更に利用者のニーズを考慮しながら情報量を増やして行く必要がある。

食のポータルサイト「家ごはんからの健康」は、「食材情報」、「食の最新情報」、「地域情報」、「家庭のおかず」、「ドクターによる生活習慣病・メタボリックシンドローム情報」、「食事診断システムのごはんナビ」から構成され、他のサイトにない役立ち情報が掲載されている。例えば、一日に食材をどれくらい摂取したらよいのか、望ましい野菜の一日摂取量や食材の50gの目安などを写真で示した。

健康管理のツールとなる「食事診断システムのごはんナビ」は操作性の点で更に工夫が必要である。また、日本の食が多様化していることから、家庭のおかずメニュー数（現時点 200種）や加工食品、外食の情報を増やすことが求められる。なお、チェーン店などの外食情報は企業の秘密事項になっていることもあり、公開するところが少なく、今後の課題となっている。

管理栄養士による栄養相談体制を今後も継続する必要がある。

### 2 自律的・継続的運営の見込み

サイトの管理運営、新規の食情報等の掲載のため、現在の推進協議会が引き続き事業主体となって事業を継続することで検討中である。自律的に運営するためにはバナー広告、スーパーマーケットとの提携などによる資金が必要であり、その方向で検討中である。

### 3 今後の展開方針

新聞、テレビ等マスコミの無料媒体を利用して、サイト利用者の拡大を行い、このサイトの支援を行うスポンサーを拡げて行く。

企業城下町であった日立市では、高齢化の進展が著しく、中里地区などの過疎地域も存在する。本事業では食料品店、スーパーマーケットなどへのアクセスが悪い地域の調査を行い、そのマップも作成する。それらの過疎地域への食材や食料、弁当・惣菜の配送など、食へのアクセスの格差是正を盛り込んだ食の流通システムの構築を考える。

## <実施体制説明書>

### 1 実施体制

(受託者) 日立市

|

(運営主体) 「家ごはんからの健康」推進協議会

(プロジェクトリーダー) 茨城キリスト教大学

(産学連携) (財)日立地区産業支援センター

(システム開発) 茨城大学

(       〃      ) (有)ラーニングアイ

(技術支援) (株)ユニキャスト

(       〃      ) (株)富士通総研

### 2 各主体の役割

| No | 名 称              | 役 割                                                                                                    |
|----|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 日立市              | この事業の受託者として、事業の企画・立案・開発・運用・改善を遂行し、システムの構築と完成に責任を持つ。                                                    |
| 2  | 茨城キリスト教大学（生活科学部） | プロジェクトリーダーとして、特にシステム本体の設計についてグランドデザインの提供と指導を行う。<br>また、食品学の専門家の立場から栄養指導に関するロジック及び素材の提供、メニューコンテンツの提供を行う。 |
| 3  | (財)日立地区産業支援センター  | 協議会運営の中心的存在として会議の運営、事業の進行管理、システムの運用を行う。<br>また、各主体間の連絡調整を行う。                                            |
| 4  | 茨城大学（工学部）        | 栄養情報収集システム、栄養指導システムの設計及び評価を行う。                                                                         |
| 5  | (有)ラーニングアイ       | 栄養情報収集システム、栄養指導システムの構築を行う。                                                                             |
| 6  | (株)ユニキャスト        | 栄養情報収集システム、栄養指導システムの構築に関して技術的なアドバイスを行う。                                                                |
| 7  | (株)富士通総研         | 栄養情報収集システム、栄養指導システムの構築に関して技術的なアドバイスを行う。                                                                |

## 事業実施進行表

| 実施内容               | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月          | H22<br>1 月 | 2 月 | 3 月 |
|--------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|---------------|------------|-----|-----|
| 協議会開催              |     |     |     | △   | △   | △   | △    | △    | △             | △          | △   | △   |
| システム構成の<br>検討・決定   |     |     |     | →   |     |     |      |      |               |            |     |     |
| システム構築に<br>係る入札    |     |     |     |     |     | →   |      |      |               |            |     |     |
| システム設計             |     |     |     | →   |     |     |      |      | 利用者の要望により随時改善 |            |     |     |
| システムテスト<br>稼動      |     |     |     |     |     |     |      | →    |               |            |     |     |
| システム稼働             |     |     |     |     |     |     |      |      | →             |            |     |     |
| ポータルサイトコンテ<br>ンツ収集 |     |     |     |     |     | →   |      |      |               |            |     |     |
| ポータルサイト設計          |     |     |     |     |     |     | →    |      |               |            |     |     |
| ケーブル TVCM<br>放送    |     |     |     |     |     |     |      | →    |               |            |     |     |
| 店頭キャンペー<br>ン       |     |     |     |     |     |     |      | →    |               |            |     |     |
| 報告書作成              |     |     |     |     |     |     |      |      |               | → 随時更新     |     |     |

## その他

本事業により構築したウェブサイト又は本事業を掲載したウェブサイト

<http://gohan-navi.jp>

以上

## 平成 21 年度実施 地域 ICT 利活用モデル構築事業 システム設計書

実施団体名：茨城県日立市

代表団体名：

事業名称：「家ごはんからの健康」事業

## 1 概要

「家ごはんからの健康」事業では、食の情報や地域の情報などを配信するポータルサイト、利用者の摂食情報を収集し管理栄養士の個別アドバイスを返信することが可能なシステム（以下「ごはんナビ」という。）を構築した。

ポータルサイトでは、“茨城キリスト教大学の先生方による食の最新情報”“1 日にどれくらい摂取できるかの食材情報”“日立市の飲食店や名産品などの情報・家庭で簡単につくれるレシピ情報”など食に関する様々な情報を配信している。

ごはんナビの利用は、まず利用者がユーザ登録を行う。ログイン後、毎食単位で食べた食事を登録されているメニュー（約 400 種）から選択し、分量とともに登録していく。登録が完了すると「日本人の食事摂取基準（厚生労働省）」に基づき、ロジックによるさまざまな自動応答アドバイスを受けることができる。

また、管理栄養士から個別アドバイスを受けたい場合は、システムから依頼するとシステム上で管理栄養士からアドバイスを受けることができる。摂食情報の他にも、日々の身体記録（体重・血圧・体脂肪）も記録することができ、グラフでその推移を見ることができる。

## 2 運用結果

## 【ポータルサイト】

- ・平成 21 年 12 月に一般公開し、平成 22 年 1 月にすべてのコンテンツが公開された。

## 【ごはんナビ】

- ・平成 21 年 12 月に一般公開し、バグなどは修正が完了している。

## 3 課題・改修の必要性

## 【ポータルサイト】

- ・利用者の知りたい情報や地域の情報など、様々なコンテンツを追加していく。

## 【ごはんナビ】

- ・登録されているメニューを登録者のリクエストに応じて追加をしていく。
- ・利用者がより使いやすいようにシステムを更新する。

## 4 その他

なし